

国語科(畑先生より)

「言語文化」「現代の国語」を通して目立ったのは、漢字のケアレスミスです。パソコンやスマートフォンの使用が増え、手で漢字を書く機会が減っているのは事実ですが、履歴書や自己推薦書も含めて、今後様々な文章を書くことが必ず出てきます。そのときになって慌てても遅いので、教科書や漢字のテキストをよく見て、何度も書き、正確に漢字を覚えてください。



文章の読解問題では、どういうふうに勉強すればよいかわからない、という人が多いと思います。私もうまくは言えませんが、「読む」ということにつきると思います。読書という習慣を少しももたずに「国語」の力をのばすことは、正直いって難しいと思います。本を手にとることがあまりない人は、興味のもてそうな小説を、一日に十五分くらいでかまいませんので、まずは「読む」という習慣をつけましょう。それを続けていくと、「文章を読む」ことに自然に慣れてくると思います。



学校の授業で取り上げる文章は、骨のあるものが多く、「何となく」読むだけでは頭に入っていないと思います。まずは、鉛筆（シャーペン）を手を持ち、「ここが大事」「ここはちょっと納得できる」というところに線を引きながら読んでください。（これは精読といいます。）そして、一回ではなく、何回も繰り返して読んでください。

週末課題（現代文）で目につくのは、前回の分の答え合わせを十分にしていないことです。「やりっぱなし」ではなく、きちんと解答を見て、確認をしてください。そして、解答の「コツ」、目のつけどころについて理解するよう努め、問題に慣れてください。